



クラブ奉仕委員会
寺尾 和則 委員長

三大要素

1. 長期的計画の策定と継続性
2. 委員会構成の簡素化
3. すべてのクラブ会員の参加

「クラブ・リーダーシップ・プラン(C.L.P)」

C.L.Pは、各奉仕部門における目標を達成するためのクラブの力を高める一助となります。成果溢れる奉仕プロジェクトの実施は、社会奉仕、国際奉仕、職業奉仕に影響を与えます。会員数が増加すればクラブの各奉仕部門で活動できるロータリアンの数も増えることとなります。ロータリー財団を支援することは、社会奉仕と国際奉仕の両方に影響を与えます。手続きの合理化、より円滑な情報伝達、長期計画の策定、関与する会員の増加によって、クラブ奉仕がさらに改善されます。能率的に運営されるようになれば、クラブは奉仕活動を一層効果的に実施することができます。

C.L.Pは、クラブが各奉仕部門にさらに努力を傾け、ロータリーの綱領に到達することができるようにするためのものなのです。

1. 長期的計画の策定と継続性
 - 1) 効果的な要素に取り組む3～5年の長期目標の立案
 - 2) クラブの長期目標と調和する年次目標の設定と実行
 - 3) 一貫した引継計画の概念を含め、指導者の継続性を確保
2. 委員会構成の簡素化
 - 会員増強・退会防止常任委員会
 - 会員増強・会員選考・職業分類・ロータリー情報・新会員オリエンテーション
 - クラブ広報常任委員会
 - 広報・雑誌・クラブ会報
 - クラブ管理運営常任委員会
 - 出席・親睦活動・プログラム・スマイル(会場監督)
 - 奉仕プロジェクト常任委員会
 - 職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・新世代
 - ロータリー財団・米山常任委員会
 - ロータリー財団・米山記念奨学会事業
 - クラブビジョン策定委員会
3. 全てのクラブ会員の参加
 - 1) 全会員が最新事情を把握し、活動に参加していると実感できるように、また決定事項の協議や委員会報告の機会としてクラブ協議会を活用
 - 2) 会員の親睦をさらに深めるような機会の提供
 - 3) 全会員がプロジェクトや業務に活発に関与するよう配慮
 - 4) 包括的な研修プランの立案
 - ・クラブ指導者の地区研修会合への出席
 - ・新会員のための一貫したオリエンテーションの定期的な実施
 - ・現存会員のための継続的教育の機会を提供

- 8月 : クラブフォーラム
- 9～10月 : 協議・立案(クラブ奉仕委員会)
- 11月 : 承認(理事会)・告知(例会)
- 12月 : 年次総会・細則の修正



委員会報告

会員増強委員会(牧野委員長)
 今期増強2名以上目標なのでよろしくお願ひします。
 旅行同好会(小島会員)
 先日FAXした件、お返事をお早めに。

出席報告..... 渡会副委員長

	月/日	出席計算 会員数	出席者	欠席者	出席率	メイク アップ	確 定 出席率
前々回	7/31	53名	49名	4名	—	4名	100%
前 回	8/7	53名	43名	10名	—	4名	88.7%
本 日	8/21	53名	44名	9名	83.0%	(名)	—